

## 2 校区図及び通学路

### (1) 校区の概要

本校は、平成29年度4月、尾道市立木頃小学校、同木ノ庄西小学校、同木ノ庄東小学校、同原田小学校の4校を統合し、尾道市立美木原小学校として、元木頃小学校校地に開校した。

校区は広範に広がり、北は御調町に、西は三原市に、東は府中市・福山市に隣接しているため、バス通学児童が半数以上いる。

校区内には、高速道路（尾道道、山陽道）や国道184号線、県道48号線・55号線が走り、交通の便が良いことから、尾道流通団地、尾道工業団地なども整備され、近年活気を増している。反面、急速な交通量の増加は、学校課題の一つでもある。学校周辺の農地が宅地へとどんどん変化し、児童数はあまり減少することなく推移している。

子供達は、豊かな自然の中で、地域の方々とのふれ合いも多く、教育環境に恵まれている。統合7年目を迎える本年度、統合前の4小学校を経験している児童も卒業し、友達作りや環境変化への対応も一区切りついた。地域を取り上げる学習も4地区を扱う内容から「美木原小学校区」としての題材へと移行している。「自分達で創る」を合い言葉に、児童会・委員会を中心とした楽しいイベントづくりを積極的に行い、楽しい学校生活づくりを進めている。縦割り班での異学年交流も盛んである。

育友会活動は、コロナ禍での活動実態から見直しを行い、新しい体制に再編されてきた。地区別の動きから学年別の動きへとシフトし、より一層保護者同士のつながりが深まるものとなっている。

感染症対策も一段落し、新しい時代の始まりの年として、さらに本年度の活動を推進していく。

